2026. 8. 10

【日本消費者物価指数（2025 年基準）】

CPI 基準改定の影響は軽微

～日銀の基調物価判断を左右しないと見込む～

経済調査部　主任エコノミスト
森田　幸大

ポイント

- **総務省が公表した消費者物価指数の新基準（2025 年基準）による遡及系列では、基準改定に伴う過去の総合指数（前年比）からの変動は、最大▲0.1 ﾎﾟｲﾝﾄの下振れにとどまった**
- **価格上昇率の高い食料でウエイトが増加するなど、ウエイトの更新が押し上げ要因となるも、全品目の基準時が 2025 年に更新され、指数が 100 にリセットされた効果が押し下げ要因として働いた**
- **基準改定が今後の物価動向に与える影響は軽微であり、日銀の基調物価判断や利上げ判断への影響もきわめて限定的とみられる**

１．基準改定を適用した遡及系列に大きな変化は見られず

消費者物価指数（CPI）は、8 月 21 日に公表される 7 月分の結果（全国）をもって、現行の 2020 年基準から 2025 年基準へと改定される。基準改定は、5 年に一度、定期的に実施されているもので、時代の移り変わりに伴う消費構造の変化を反映させるため、採用品目や各品目のウエイトなどを見直し、統計精度の維持向上を図ることを目的としている。

具体的な内容は図表 1 のとおりである。このうち、品目の改定については、追加された 19 品目のうち 10 品目は食料となった（図表 2）。弁当 C（かつ丼）、たこ焼き、ミートボールと、弁当・総菜系の品目が複数追加されており、共働きや単身世帯の増加に伴う「中食化」の反映が進んだと評価できる。

7月分の結果の公表に先立ち、総務省は8月7日、2025年1月から2026年6月までを新基準で遡及推計した参考系列を公表した。なお、これはあくまで新旧基準の比較を目的とした参考値であり、すでに公表済みのCPIが遡及して改定されることはない。その結果を見ると、新基準による総合指数の前年比は、2020年基準と比較して、直近の2026年6月に▲0.1ﾎﾟｲﾝﾄ下振れるにとどまった（図表3）。前回の基準改定では▲0.1～▲0.8ﾎﾟｲﾝﾄもの下振れが生じたことをふまえると、今回の基準改定による影響は限定的と言えよう。ただし、この変動の要因とその内訳によって

（図表1）2025年基準改定の内容

内容	詳細
指数の基準時の更新	各品目の指数を100とする年次を、2020年から2025年に更新
ウエイトの更新	各品目のウエイトを、家計調査の結果等を用い、2025年の品目別消費支出金額を基に更新
品目の改定	家計消費支出における重要度等をふまえ、19品目を追加、11品目を廃止、2品目を1品目に統合
価格情報の収集方法変更	ネット購入の増加や情報収集技術の進展をふまえ、「メモリーカード」と「プリンタ用インク」については、対面販売とインターネット販売の価格を含むPOS情報を活用した方法に変更
モデル式の改定	「電気代」、「通信料（携帯電話）」などの一部の品目は、価格が購入条件によって異なるため、典型的な利用事例を設定したモデル式を用いて価格指数を算出している。この対象を、品目の改廃もふまえ、6品目追加し、2品目除外して計78品目に変更。また、数式等の見直しも実施

（出所）総務省資料より明治安田総研作成

（図表2）品目改定の内訳

10大費目	追加品目	廃止品目
食料	塩サバ ぶどう（シャインマスカット） パイナップル 香辛料 グミ 弁当C（かつ丼） たこ焼き ミートボール 炭酸飲料B（炭酸水） ゼリー飲料 ※このほか、発泡酒とビール風アルコール飲料を統合	煮干し はくさい漬け ぶどうA（デラウェア） ぶどうB（巨峰）
被服及び履物		婦人用帯 ネクタイ 婦人用ストッキング
保健医療	プロテインパウダー	健康保持用接種品B（青汁）
交通・通信	ヘルメット カーリース	
教育	通信教育	
教養娯楽	ヘッドホン・イヤホン 資格試験 ペット保険料	サッカー観覧料 ビデオソフトレンタル料
諸経費	ヘアドライヤー 制汗剤	振込手数料

（出所）総務省

は、今後の物価動向の見方に影響を与える可能性も否定できない。このため、改定による変化幅を分解し、その中身を精査する。

2．変動要因の大部分はウエイトの更新と指数の基準時更新

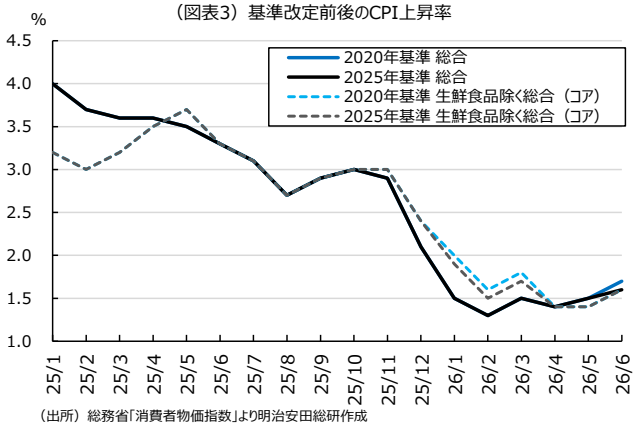
基準改定によるCPIの変動要因を改定内容別に分解したところ、ウエイトの更新と指数の基準時更新による影響が大部分を占めた（図表4）。まず、ウエイトの更新は、全体としてCPIへの押し上げ圧力として作用した。これは、2025年1月から12月にかけて前年比＋5%を超える高い伸びを示した食料など、価格上昇率の高い品目でウエイトが増加したためである（図表5）。一方、下押し圧力となったのは、指数の基準時更新である。CPIの寄与度は、各品目のウエイトと価格変動率だけでなく、その時点での指数水準にも影響される。つまり、同じウエイトと変動率であっても、価格上昇が先行して指数水準が高い品目ほど、総合指数への寄与は大きくなる。しかし、基準時が2025年に更新され、全品目の指数が100にリセットされると、この指数水準の高さに由来する寄与度の上乗せ効果が失われる。この効果は、特に価格上昇が先行していた食料（2025年指数：125.8）において強く働き、CPIへの押し下げ圧力となった（図表6）。

このほか、モデル式や品目の改定などは全体として押し上げに寄与した。結果として、指数の基準時更新による下押し効果が、ウエイト更新など、ほかの押し上げ要因を打ち消す形となり、基準改定による全体の変化幅は軽微になったとみられる。

3．今後の物価動向に影響する各種インパクトの大きさはわずかに変動

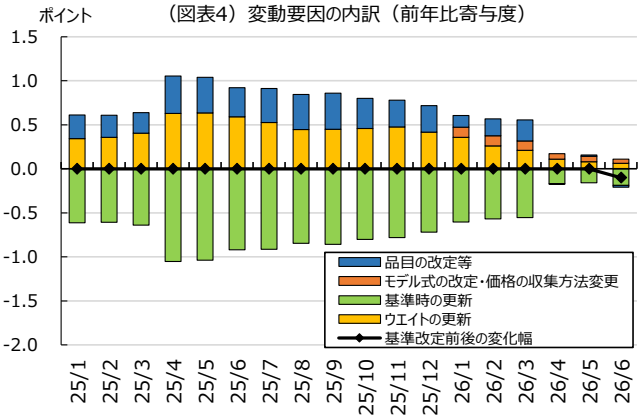
次に、基準改定が今後の CPI に与える影響を考察する。7月以降の CPI は、特に食料とエネルギーの価格動向が鍵となる。食料について、米類価格は低下傾向にあるものの、原油高に伴う輸送や包装等のコスト増の価格転嫁が進み、全体としては伸びが拡大していくと見込まれる。エネルギーは、夏季の電気・ガス料金補助が CPI の押し下げ要因となるものの、燃料油に対する激変緩和措置の縮小が検討されており、これが現実となれば押し上げ要因となり得る（詳細については、7 月 24 日付レポート「日本消費者物価指数（26年６月）」を参照）。

（図表3）基準改定前後のCPI上昇率



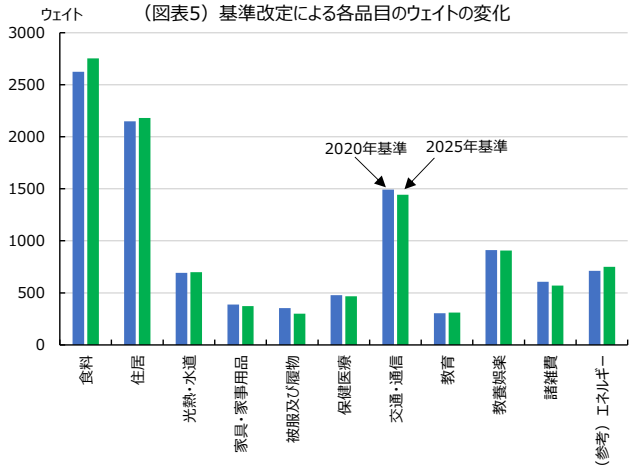
（出所）総務省「消費者物価指数」より明治安田総研作成

（図表4）変動要因の内訳（前年比寄与度）



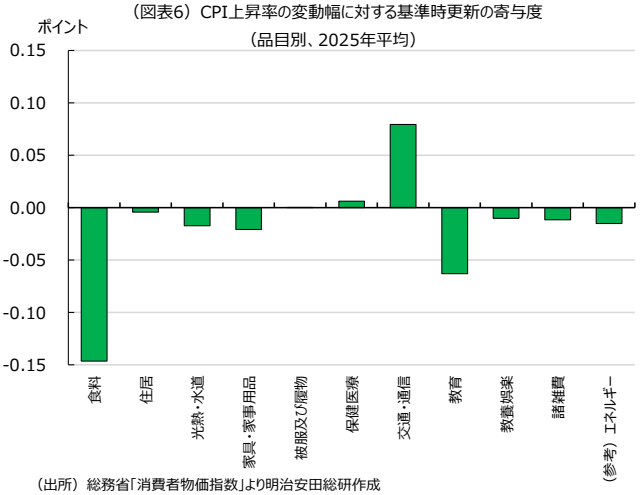
（出所）総務省「消費者物価指数」より明治安田総研作成、「品目の改定等」は残差

（図表5）基準改定による各品目のウエイトの変化



（出所）総務省より明治安田総研作成

（図表6）CPI上昇率の変動幅に対する基準時更新の寄与度
（品目別、2025年平均）



（出所）総務省「消費者物価指数」より明治安田総研作成

今回の基準改定は、こうした価格変動が総合指数へ与えるインパクトを変化させる。具体的には、旧基準の指数が大きい食料やエネルギーのうちガソリンについては、ウエイトが増加した反面、基準時更新の影響の方が強く出るため、インパクトが従来より低下するとみられる。一方、エネルギーのうち電気代については、ウエイトの増加に対して旧基準の指数が大きくなく、ウエイト更新の効果の方が強く出て、インパクトは増加するとみられる。

例えば、食料の伸びが直近 6 月の前年比＋3.0%から、仮に同＋4.0%まで拡大した場合、2020 年基準では総合指数を＋0.29 ﾎﾟｲﾝﾄ押し上げると試算されるが、2025 年基準では＋0.27 ﾎﾟｲﾝﾄとわずかに縮小する。同様に、燃料油に対する激変緩和措置について、レギュラーガソリンに対する適用基準額が現行の 170 円/L から 175 円/L に引き上げられた場合、2020 年基準では押し上げ効果が＋0.06 ﾎﾟｲﾝﾄと試算されるが、2025 年基準では＋0.05 ﾎﾟｲﾝﾄに縮小する。一方、電気代の影響を強く受ける電気・ガス料金補助による押し下げ効果（使用月の翌月の統計に反映される）は、2020 年基準では 8、10 月が▲0.45 ﾎﾟｲﾝﾄ、9 月が▲0.58 ﾎﾟｲﾝﾄと試算されるが、2025 年基準を適用すると 8、10 月が▲0.46 ﾎﾟｲﾝﾄ、9 月が▲0.59 ﾎﾟｲﾝﾄとわずかに拡大する。

４．日銀の基調物価判断への影響は限定的

このように、基準改定が今後の CPI に与える影響は皆無ではない。しかし、そのインパクトはいずれも小数点第 2 位の範囲にとどまっており、物価トレンドの評価を大きく左右するものではないだろう。CPI の小数点以下の動きまで注視する日銀の姿勢をふまえても、今回の改定が基調的な物価の判断や、その先の利上げ判断に与える影響はきわめて限定的とみられる。

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください
明治安田総合研究所 主任エコノミスト 森田 幸大
電話番号：080 2298 8286
e-mail：yu7-morita@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元●株式会社明治安田総合研究所　〒102-0073東京都千代田区九段北3－2－11　TEL03-6261-6411